2014～2017年度入学生

情報デザイン学科

教育目標（育成する人材像）

ビジュアル・コミュニケーションを学科教育の基軸とし、世界に溢れる多様な情報から価値ある情報を創り出すデザイン思考によって、社会に新たな豊かさを提案できる人間を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

■修得する能力

探求力	世界のあり方や社会の状況を広く深く観察することで対象の本質を探り、的確な情報や可能性を掴み取ることができる
思考力	多様な視点をもって情報を分析、考察、整理することによって、社会に関わる問題を発見することができる
発想・構想力	視点の転換によって既知の情報を解釈しなおし、問題解決に向けて計画を立案することができる
表現力	言語化と視覚化を状況に応じて展開させ、目標に向けて的確にプレゼンテーションし、仕事を達成することができる
行動力	社会へ向けて積極的にデザインの役割を示し、あらゆる問題に対して解決を目指し行動することができる
継続力	強い意欲と探求する姿勢をもって、困難な問題に向き合いつづけることができる
コミュニケーション力	さまざまな分野の人々と対話、議論することで相互理解を深め、有効なネットワークをつくり、協調、協働することができる

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

情報デザイン学科では、フィロソフィ、テクノロジー、クリエイション＆プレゼンテーション、キャリアの四領域を横断しながら、コミュニケーションを通して、ひとりひとりの適性にあった学びを形成します。

○1･2年次においては、「ラーニングリテラシー」を通して大学でのまなびを体感し、「観察・思考・発想力基礎」で多角的な視座から世界を読み解き、観察に根ざした思考によって本質をさぐり、みずから着想を得る力を養います。また並行して、着想を視覚化するための基礎を「デザイン技法」によって体得します。

○2･3年次においては、「表現基礎」「表現演習」および「情報デザイン論」を通して専門領域を開拓し、「社会研究」によって自己の掘り下げと社会の探究を行うことで、身につけた専門性を生かして問題を解決に導く力を養います。

○3･4年次においては、「総合演習」および「卒業研究・制作」によって学びを統合し、情報デザインの概念を拡張すべくみずからのテーマを追求します。

○「デザイン・フィロソフィ」を通して、デザインとは何か、という根源的な問いを探究し、社会に新しい価値を提案するための模索をおこないます。

これらの課程を通して、多様な視点からアイディアをかたちにする情報編集の力と、他者とともに共感をもって豊かな価値をつくりだす社会性をはぐくみ、ひろく長期的な視野で社会を牽引する人材を育成します。